

令和5年 南アルプス市議会 第2回定例会（6月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
1	南風 櫻田 力	1. 金丸市長が集大成と位置付ける3期目の市政への取り組みについて	<p>(1) 市長は3期目の公約として「産業の振興」「子育て・人口増加への対応」「総合的なインフラ整備」を掲げているが、公約と持続可能で健全な財政運営を実現するためには、自主財源を中心とした歳入基盤を確立し、その確保・拡充を図るとともに、事務事業の見直しや経費の削減による歳出の抑制を図るなどにより、行政サービスを低下させない効率的な財政運営を積極的に進めていくことが必要になると考えるが、その具体策は。</p> <p>(2) 産業の振興策の一つである「インバウンドや県外客をターゲットにしたフルーツ観光・山岳観光など観光産業の振興」の推進策は。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	新政南アルプス 有野 一成	1. 子育て環境の一層の充実について	<p>(1) 今年3月に「子ども・子育て応援宣言」が行われた。本市の子育て環境は県下でもトップクラスと思われるが、その現状と課題は。</p> <p>(2) 市長の公約「さらに前進 未来を拓く」の中で、こども子育て応援都市として子育て環境の一層の充実を図ると述べているが、その具体策は。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	新政南アルプス  有野 一成	2. 八田14号線の延 伸について	<p>(1) 市長の公約「さらに前進 未来を拓く」の中で、六科交差点の渋滞緩和のため、八田14号線の延伸を実施すると述べている。生活道路、通勤道路、観光道路としても大きな役割を果たす八田14号線の延伸は、必要不可欠と考えるが、市の所見は。</p> <hr/> <p>(2) 八田14号線の延伸は、現在、道路改良している県道有野・旭バイパスの進捗状況と合わせて延伸する必要があると考えるが、市の所見は。</p>

令和5年 南アルプス市議会 第2回定例会（6月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
3	<p>躍進会 野中 國幹</p>	<p>1. 市長3期目に向けての優先課題について</p>	<p>4月23日執行の南アルプス市長選挙において、金丸市長におかれては、投票数の約58.6%の得票を得られ当選し、3期目の市長として就任された。そこで、市長選前から3期目に対する公約を掲げ、市民の皆様にうたえてきた。又、6月議会の所信表明でも本市の将来像における、取り組みや道筋を作るためにと述べられていた。</p> <p>再度何うが、何を優先的に行うのか、また特に手掛けたい事業等は何か。</p>
		<p>2. 防犯カメラの設置について</p>	<p>昨今の犯罪状況は近年特に増加傾向であり、毎日のように紙面を騒がしているが、犯罪の状況を見ると、犯人確保に役立てられている防犯カメラは必要不可欠ともされている。</p> <p>については、防犯カメラの設置について自治会施設や災害避難場所等に対して、設置したいとの要望を聞いている。これに対し市からの助成は考えられないか、市の見解は。</p>

令和5年 南アルプス市議会 第2回定例会（6月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
4	公明党 小池 伸吾	1. シティプロモーション事業について	(1) シティプロモーション事業の現在の取り組みは。
			(2) 市民参加型の取り組みについて進捗状況は。
			(3) 移住・定住促進の施策と成果は。
			(4) 伊奈ヶ湖等を活用した観光に関わる取り組みは。
			(5) インターチェンジ新産業拠点整備事業を活用した情報発信をどう考えているのか。

令和5年 南アルプス市議会 第2回定例会（6月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
5	未来創政の会 矢崎 俊秀	1. 産業振興とまち づくりについて	(1) 金丸市長は三期目の市政運営における産業振興をどの様に考えているのか。
			(2) まちづくりの観点から、公共事業における入札制度や地場産業の活用と関連企業の振興をどの様に考えているのか。
			(3) 持続的な財政力の安定化の観点から産業振興をどの様に考えているのか。

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
6	南風 藤田亜由未	1. 保育士の働く環境改善について	<p>(1) 近年、共働き世帯の増加により保育園のニーズが高まる一方で、保育士の人材確保については大きな課題であり、その対策は急務であると考えている。また、保育士の待遇改善も必須であると考えているが、本市における保育現場の現状は。</p> <p>(2) 保育士の業務は子どもたちの健やかな成長をサポートする責任が伴い、時に大きなストレスや心理的負担を感じるという保育士の声も聞かれる。子どもたちにとっての安心・安全な保育環境を整えるためには、保育士の心身のケアやサポートが必要であると考えているが、本市の取り組みは。</p> <p>(3) 保育現場の業務負担の軽減について、ICTの導入が不可欠であると考えているが、今後の導入についての考えは。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
6	南風 藤田亜由未	2. シティプロモーションのさらなる強化について	<p>(1) 新たな発信ツールとして導入した公式インスタグラムや公式ラインの成果と課題について、どのようにデータ分析を行い、反映させているか。また、さらなる活用の考えと、今後の具体的な実行計画は。</p> <p>(2) すでに積極的に取り組み成果を出している「子育て支援施策」や「移住定住促進事業」「大手企業の進出」等の市の施策についての発信も大変重要であると考えるが、今後の具体的な推進策は。</p>

令和5年 南アルプス市議会 第2回定例会（6月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
7	新政南アルプス  三木 充	1. 南アルプス I C 周辺高度活用推進計画について	<p>(1) 金丸市長の3期目の公約として、この I C 周辺開発は本市の将来の姿を決定する重要な開発事業と位置付けて、その意気込みを先の市長選においても強く訴えていた。過日の議員説明会の折に提出された計画資料（案）に、地域全体における「新たな豊かさ」の創出と表現されているが、「新たな豊かさ」とは、どのような考え方なのか。</p> <p>(2) 新山梨環状線の北側で、南アルプス I C 入り口から甲西バイパスまで、いわゆる馬蹄形のエリアであるが、この地域から開発に着手すると聞いている。参入企業や事業者の選定を、どのような方向性のもと進めるのか。</p>
		2. 基幹産業である農業と企業・工場誘致とのバランスについて	<p>企業誘致や工場誘致での企業の従業員確保の予定をみると、（株）コーセーやコストコホールセールジャパン（株）、それぞれ300～400人を予定している。他の進出企業もそれぞれ従業員の確保は必然であり、その人数は本市のみで補えるものではないと考えられる。もちろん、県内全域から、或いは県外からの移転もあると思うが、本市の就農人口にも、少なからず影響するものと考ええる。本市の農業政策における就農者数の確保と、企業誘致の推進における従業員数の確保が、両立するのか不透明さはあるが、どう捉えているのか。</p>

令和5年 南アルプス市議会 第2回定例会（6月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
8	新政南アルプス  飯野多恵子	1. 市のシンボルを使ったまちづくりと今後の活用について	<p>(1) 市制15周年の記念事業として市のシンボルが募集され、花、木、鳥、山がそれぞれ決定した。制定の目的とこれまでの経過、また今後の活用について金丸市政3期目スタートにあたり伺う。</p> <p>(2) 滝沢川あやめ祭りが3年ぶりに「なつかしいが広がる一日」をコンセプトに盛況に開催された。滝沢川公園のアヤメはボランティアの皆さんの協力もあり、参加者の目を楽しませてくれた。しかし、以前のような整備状況には至っていなかった。市の花あやめとしての位置づけは。</p> <p>(3) 市のシンボルとして6年前に制定された市の花の事業予算は、産業観光部や建設部に分れて計上されている。事業内容により実施する部署が違ってくることは当然であると理解している。市のシンボルを、制定時の目的に沿って、啓発活用していくことを統括する部署はどこか。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
9	<p>躍進会 北村千代子</p>	<p>1. 健康寿命の延伸 について</p>	<p>(1) 健康寿命とは、健康上の問題がない状態で日常生活を過ごせることで、具体的には、支援や介護を受けずに生活できる状態の期間である。健康寿命は、老化防止と深い関わりを持っており、健康状態がよく、長生きをするためには良好な食生活と筋力が強く、歩行速度が速く、また仕事の付き合いなど社会的な活動が必要と言われている。本市においても健康増進の充実を図っているところである。国において2040年をめどに健康寿命を3年以上延伸していく計画にあるが、本市はどのように対応していくのか。</p> <p>(2) 健康状態がよく、長生きをするために、良好な食生活が必要と言われる。それにより身体はもとより精神状態も安定する。人の体を作っているものは摂取した食べ物からであり、免疫力を高めることも毎日の食生活が関わっている。今、食生活関係の情報は非常に多く、振り回されることが多い。そこで、市民に対し、年齢や体調にあった食生活の見直し、改善について市からの確かな情報が必要と考えるが、市の考えは。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
9	<p>躍進会 北村千代子</p>		<p>(3) 健康寿命を延伸していくためには、高齢者が要介護状態にならないための「介護予防」が重要と考える。市では、高齢者を対象とした一般介護予防事業として運動教室等を開催しているが、参加者の多くは女性が占めているのが現状である。男性は運動教室に通いたいと思っても女性が多くて参加をためらっていることを考えると「男性の運動教室」の開催が必要と考える。男性向けの運動教室として、65歳以上の男性を対象に週1回、90分で20回のコースを指導者の指導のもと実施している自治体もある。男性の特性として、教室という形がなじめないとの考えもあるが、男性に限定することで参加しやすいと考える。健康維持とともにお互いに交流して、社会的な活動につながるものとするが、この「男性の運動教室」の開催について市の考えは。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
9	<p>躍進会 北村千代子</p>	<p>2. 市の花 アヤメ の管理について</p>	<p>(1) 南アルプス市の花として皆様に愛されているアヤメのその管理について、滝沢川の河川敷には花壇が70個余あり、約7万本のアヤメが植えられている。管理は5年ほど前にアヤメを育てる会が撤退し、今は市がボランティアを募り、ボランティアは各花壇を受け持ち、年間数回の草取り、花柄摘み1回、肥料かけ2回、アヤメの刈り込み1回を行っている。素晴らしく管理が行き届いている花壇もあるが、中には高齢になり、管理ができなくなってきて、花壇は草に押されているところもある。このような現状を市ではどのように考えているのか。市の方針は。</p> <p>(2) アヤメの管理に対して統一した見解により、指導、助言が必要と考える。具体的にボランティアの方々を一堂に会し、意向を聞き、管理に対しては情報交換や専門的な指導・助言等を行い、統一した管理のためにも、またボランティアの輪を広げるためにも必要と考えるが、市の考えは。</p> <p>(3) アヤメの花を市の花として将来にわたり、絶やさず育てていくためには、市民の皆様が積極的に庭や畑などに植え、緑豊かな街づくりにつながるように、苗の配布また指導などを合わせて行うことが必要と考えるが、市の考えは。</p>

令和5年 南アルプス市議会 第2回定例会（6月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
10	躍進会 三枝 守和	1. 節電対策と脱炭素化を両立する取り組みについて	<p>カーボンニュートラル実現に向け、政府は2030年までに保有する全施設のLED化を打ち出している。円安進行やウクライナ情勢による原油高騰、電気料金をはじめ物価上昇など、厳しい環境下での対策を求められる。そこで、全市の公共施設をすべてLED化に変えていくとすれば、相当な財源が必要となる。したがって、市としてどのような構想で対応していくのか、市の見解は。</p>
		2. 八田14号線の延伸に伴う周辺道路整備について	<p>(1) 六科交差点の渋滞緩和の対策と考えられるが、この道路に沿って（株）コーセーの工場誘致がはじまり、また源地区の車両が野牛島地区の生活道路に進入するのが多くなると思うが、この対策は。</p> <p>(2) 八田14号線が樹園の南で止まっている。西への延伸ばかりでなく東への延伸も必要だと思う。能蔵池の上を通り東の八田196号線に接続する構想を八田の先人達が持っていたが、今後、市の取り組みは。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
11	公明党 齊藤 博明	1. 「こども・子育て応援宣言」の評価と次なるステップについて（「南アルプス市子どもの権利条例」の制定に向けて）	<p>令和4年5月26日に諮問のあった「こども・子育て応援宣言」について、南アルプス市子ども・子育て会議は、令和4年12月16日に答申案をまとめた。令和5年3月5日に発表された宣言では、子どもの権利を尊重するまちであることを明らかにするとともに、具体的に子どもの4つの権利を尊重し、子どもを中心とした施策を推進することを第一義ととらえている。</p> <p>(1) この答申内容を受けた市長の率直な思いと、宣言に込められた新たなる決意は。</p> <p>(2) 子どもの「生きる権利」とは、子ども一人ひとりの違いを大切に、個性として尊重することに他ならない。本市の該当する施策は。</p> <p>(3) 子どもの「育つ権利」とは、子どもが安心して自分らしく生きることができることに他ならない。本市の該当する施策は。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
11	公明党 齊藤 博明		<p>(4) 子どもの「守られる権利」とは、お互いを尊重し、共に支え合うことに他ならない。本市の該当する施策は。</p> <p>(5) 子どもの「参加する権利」とは、子どもが南アルプス市の今と未来をつくっていくことができることに他ならない。本市の該当する施策は。</p> <p>(6) この宣言における崇高な精神が、侵害されることなく、未来にわたり守り続けられるためにも、今こそ「(仮)南アルプス市子どもの権利条例」の制定が必要であると考える。市の所見は。</p>

令和5年 南アルプス市議会 第2回定例会（6月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
12	松野 昇平	1. 国民健康保険について	<p>(1) 本市の国民健康保険税財政は、ここ数年黒字が続き、令和4年度の基金積立金も10億円を超える見込みとなっている。こうした運営状況を踏まえ、保険税率を引き下げるべきと考える。市の所見は。</p>
			<p>(2) 国民健康保険には、被保険者の人数によって課税される均等割があり、子育て世帯にとっては子どもが増えると税負担が増えるという状況になっている。このことから、昨年から、国として未就学児の均等割額の半分を減免することになったが、市としても、子ども均等割減免の拡充を図るべきと考える。市の所見は。</p>
		2. 物価等高騰対策について	<p>(1) 福祉施設は、新型コロナウイルス感染症の対策に加え、物価高騰によるコスト増を価格に転嫁できず、厳しい収益環境が続いている。昨年同様に福祉事業者への支援を求めるが、市の所見は。</p>
			<p>(2) トラック運送事業者は、コロナ禍に伴う輸送量の減少、軽油の大幅な価格高騰が経営を圧迫している。一方、多くの事業者が運賃に価格転嫁できずにいる。社会インフラとして重要な運送事業者への支援を求める。市の所見は。</p>

令和5年 南アルプス市議会 第2回定例会（6月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
13	保坂 健	1. 未来を拓く農業振興について	市は、農業の振興について、今後どのような方向を目指すのか。
		2. スマート農業の普及について	本市において、令和5年度当初予算で「南アルプスブランド戦略事業」の一環として、スマート農業の導入に向けた取り組みも計画されている。 今後、地球温暖化対策や脱炭素化に繋がる気象観測システムやAIドローン等を導入しての農業生産は重要であると考え、これらの普及に向けての市の所見は。

令和5年 南アルプス市議会 第2回定例会（6月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
14	小林 敏徳	1. 新産業拠点整備事業公募審査の内容について	<p>(1) 南アルプスIC新産業拠点整備事業に参入する企業の決定は、審査委員会による書類審査・プレゼンテーション審査および選考を経て、市が優先候補者・次点候補者を決定し、破産管財人と協議した上で、参入事業者を決定する、となっている。参入事業者と決まった(株)ヒカレヤマナシとコストコは、審査結果、何点取って決まったのか。採用内容について細かく説明を求める。</p> <p>(2) 黒塗りとなっている事業者は、何点で不採用になったのか、細かく内容の説明を求める。</p>